

# 天白歴史探訪マップ 駿河街道(姫街道)・平針宿跡コース



**「旧街道筋」**  
昭和初期頃は商店街で、店舗が数十軒余もあったという。

**「追分地蔵」**  
石仏地蔵尊、施主近藤佐太郎が明和4年(1767)2月に建立した。追分地蔵が道標になっており、「右なごや左あつた」の文字がある。横に鳥田地蔵道の自然石の道標がある。名古屋市に合併した昭和30年には、田んぼのあぜ道にあったが、区画整理のため一時小学校に保管され、その後区画整理が終わると現在の位置に民された。

**「和合山の碑」**  
昭和初期、和合山から採掘した黄土を、平針の農民が前庭で乾燥し粉(当時の住宅の壁の仕上げ材)にして、名古屋に販売したという。平針地区の産業となり命を落とした坑夫の霊を慰める碑が建っている。



**「平針の歴史」**  
平針村はかつて800mほど北にあって、徳川家康が、慶長17年(1612)に岡崎より名古屋への近道を考案、伝馬継場として平針平針子山に宿場を開かせた。問屋場も置かれ、村の移転によりは免税の特権があった。また、焼失していた秀傳寺の再建も叶えられた。  
天下泰平の世では脇街道である平針は寂れたが、明治維新以降は地元産業が盛んになり、この付近の村の中心的な役割を果たしてきた。



**散策コースご案内**

1	地下鉄原駅	約8分	平針西口交差点	約12分	古民家	約5分
	本陣跡	約3分	秀傳寺	約15分	慈眼寺	約6分
	針名神社	約7分	農業センター	約15分	地下鉄平針駅	
2	農業センター(外周)	約4分	二つ池	約15分	荒池	約15分
	北門	約4分	二つ池	約15分	荒池	約15分
	正門	約15分				

※所要時間は分速50m(ゆっくりめぐり)で表示しています。



地下鉄出入口  
バス停  
郵便局

# 天白歴史探訪マップ 駿河街道(姫街道)・平針宿跡コース

〈企画・作成〉天白ガイドボランティア歴遊会  
〈監修〉(故)黒川光雄 〈発行〉天白区役所  
〈初版〉平成26年(2014)3月  
〈第2版〉令和6年(2024)3月

## ①平針の街道

江戸時代の古図によると、平針を通る街道は「駿河街道」と明記されている。平針は各方面への分岐点で、<sup>こらも</sup>拳母(豊田)、足助、岡崎や熱田の宮に通じていた。

## ②旧街道沿の商店

大正末期から昭和初期には、商店が数十軒余もあって、この地方の中心であったようだ。日常生活用品以外に、農商銀行、郵便局、パン屋、カフェ、玉突き場、商人宿(旅籠)、病院、京土座(芝居・活動写真)などの店があった。

最近まで現存した、明治34年(1901)建築といわれる旧薬局建物は、壁は漆喰で塗られ、外壁は蔦で覆われた重厚な建物であった。

昭和30年(1955)当時の人口は次のとおりである。

平針：2,505人 植田：2,836人  
島田：2,725人 八事：3,801人  
野並：882人

## ③平針宿場・本陣跡

慶長17年(1612)に徳川家康が名古屋城築営を検分したおり、ここ平子山に籠を止め、作事奉行の藤田民部・原田右衛門・寺西藤左衛門に命じ、平針村に対して「東海道伝馬に仰せ付ける」という証文を発行したことに始まる。農家わずか16戸の小村を現在地に移転させ、仁右衛門宅を本陣とし、初代庄屋として村瀬の姓をもらった村瀬仁右衛門が伝馬役を務めた。仁右衛門家が絶えた後は、竹内伝兵衛が村瀬姓を継ぎ、明治維新まで続いた。

## ④祥雲山秀傳寺 曹洞宗

創建：明応2年(1493)  
沿革：慶長17年(1612)焼失していた本堂を徳川家康の命により再建。昭和20年(1945)3月12日に戦災で焼失したが、平成2年(1990)に再建された。

本尊：釈迦牟尼座像  
境内：境内に保育園がある。



## ⑤秋葉山慈眼寺 曹洞宗

創建：伝承によれば大同4年(809)の京都大火で上京した秋葉三尺坊尊が鎮火祈願をした帰りに、平針の地で「鎮坊火燭」の真筆を残されたことに始まったという。以来「休跡齋」と呼ばれている。本堂には織田信長寄進の「三尺坊尊像(お前立)」が鎮座している神仏習合の寺。

本尊：<sup>ひびり</sup>聖観世音菩薩(秘仏)、三尺坊尊  
境内：奥の院、御嶽信仰の碑などがある  
墓所：征清記念碑(山県有朋書)、太平洋戦争戦没者慰霊碑ほかがある。

## ⑥針名神社

創建：<sup>えんぎしきじんみょうちょう</sup>延喜式神名帳に記載のある神社で少なくとも千百年以上前と伝えられるが不詳。平針宿場開設のため、小村を移転したのと同時に、現在地に遷座した。

社殿は昭和51年(1976)に新造営。

祭神：<sup>おはりはりなねむらじのみこと</sup>尾治針名根連命を主祭神とし、<sup>おおなむちのみこと</sup>大己貴命(大国主命)ほかを祀る。

境内：敷地は約40,000㎡(1万2千坪)あり、本殿、拝殿、参集殿などが整備されている。境内地は野鳥保護区に指定。

末社：神明社、天王社、稻荷社、天神社

## ⑦名古屋市農業センター dela ふぁーむ

昭和40年(1965)4月に開園した、市民が農業に親しみながら憩う農業公園。敷地面積は84,000㎡あり、しだれ梅園、菜園、放牧場が配置されている。

令和6年(2024)3月にリニューアルオープンし、牛舎の建て替えやふれあい動物園、レストハウスの新設といった畜産エリアの整備やバーベキュー広場などが新設された。

開園時間：午前9時から午後4時30分  
休園日：毎週月曜日(ただし、祝日または振替休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日から1月3日まで)

駐車場：第1駐車場・第2駐車場あり  
平日：無料  
土日祝日：1回500円  
しだれ梅まつり期間(2月下旬~3月中旬ごろ、平日含む)：1回1000円

## ⑧荒池

灌漑用溜池。面積は91,239㎡。北側に堰堤、水路は繁盛川であり、名古屋市と日進市の境である。東南・西側の雑木林に野鳥が飛来し、池周辺は野鳥の楽園となっている。